ネットワークサービス

留守番電話サービス 370
キャッチホン 371
転送でんわサービス 372
迷惑電話ストップサービス 373
番号通知お願いサービス 373
デュアルネットワークサービス 374
ガイダンスを日本語と英語で切り替える ..... 英語ガイダンス 374
サービスダイヤル 374
通話中着信設定 375
通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する ..... 通話中着信動作選択 375
遠隔操作を設定する ..... 遠隔操作設定 375
マルチナンバー 376
2in1 ..... 2in1 設定 377
新しいネットワークサービスを登録する ..... 追加サービス（USSD登録） 380

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	マルチナンバー	必要	有料
			2in1	必要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	公共モード（電源OFF）※	不要	無料

※ 公共モード→P76、77

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数)が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送信に切り替えて操作してください。→P68

❖留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 MENU▶8 8 1▶**メニュー項目を選択して操作**

- 2in1がONのときは、留守番サービスの開始、停止、メッセージ再生、留守番サービス設定はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

メニュー項目	機能と操作
1 留守番サービス	
1 留守番サービス開始	▶**「はい」**▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。 • Bモードのときは、呼出時間は設定できません。 デュアルモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」**▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** •「Bナンバー」を選択した場合は、呼出時間は設定できません。
2 留守番呼出時間設定	▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。
3 留守番サービス停止	▶**「はい」** デュアルモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」**
4 留守番設定確認	▶**「はい」** • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。 デュアルモードまたはBモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」** • Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。

メニュー項目		機能と操作
	5 留守番メッセージ再生	▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作 • 1で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作
	6 留守番サービス設定	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作
	7 メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。 ▶「はい」
2 件数増加鳴動設定		新しい伝言メッセージが増えたときやメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、通知音が鳴るように設定します。 ▶各項目を設定▶[□] **件数通知音：** 「ON」にすると、通知音が鳴り、音声電話のバイブレータ設定に従って振動します。 **通知メロディ：** 件数通知音を設定します。
3 着信通知		

メニュー項目		機能と操作
	1 着信通知開始	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。 ▶「はい」▶「はい」または「いいえ」 •「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。 •「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。
	2 着信通知停止	▶「はい」
	3 着信通知開始設定確認	▶「はい」
4 表示消去		伝言メッセージのマークを消します。 ▶「はい」

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 音声電話中にかかってきた別の音声電話に出るときは、次の操作を行います。
  [✆]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
  [⌐]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示される。[✆]を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、[6/a]を押すたびに通話相手を切り替えられます。

• 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、メニューを押し「ダイヤル入力」を選択します。

1 メニュー▶8 8 2 1▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 キャッチホン開始	▶「はい」
2 キャッチホン停止	▶「はい」
3 キャッチホン設定確認	▶「はい」

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

• 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
• 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数)が表示されます。

❖転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 メニュー▶8 8 2 2▶メニュー項目を選択して操作

• 2in1がONのときは、転送サービスの開始と停止はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

メニュー項目	機能と操作
1 転送サービス開始	▶「はい」▶「はい」 ▶転送先番号を入力▶▶「はい」▶呼出時間を入力 • 転送先番号入力画面でメニューを押すと電話帳から、を押すと着信履歴から、を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。 • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。 • Bモードのときは、転送先番号、呼出時間は設定できません。 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」▶「はい」▶転送先番号を入力▶▶「はい」▶呼出時間を入力 •「Bナンバー」を選択した場合は、転送先番号、呼出時間は設定できません。
2 転送サービス停止	▶「はい」 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」
3 転送先変更	転送先を変更したり、転送先を変更して転送サービスを開始にしたりします。 ▶転送先番号を入力▶▶1 または 2▶「はい」 • 電話番号入力画面でメニューを押すと電話帳から、を押すと着信履歴から、を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。 • 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのとき、Bナンバーについては、転送先の変更のみできます。
4 転送先通話中時設定	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。 ▶「はい」

メニュー項目	機能と操作
5 転送サービス設定確認	▶「はい」 デュアルモードまたはBモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」 • Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。

❖転送ガイダンスの有／無を設定する

1 1 4 2 9 ▶ ／ ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 MENU ▶ 8 8 7 3 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」 • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2 電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」▶電話番号を入力▶ ▶「はい」 • 電話番号入力画面で MENU を押すと電話帳から、R/G を押すと着信履歴から、✉ を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。
3 迷惑電話全登録削除	▶「はい」
4 迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「はい」
5 拒否登録件数確認	▶「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に 2（数字は件数）は表示されません。

1 MENU ▶ 8 8 4 2 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 番号通知開始	▶「はい」
2 番号通知停止	▶「はい」
3 番号通知設定確認	▶「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 MENU▶8 8 7 5▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 デュアルネットワーク切替	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶**「はい」**▶**ネットワーク暗証番号を入力**
2 デュアルネットワーク状態確認	▶**「はい」**

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 MENU▶8 8 7 4▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 ガイダンス設定	▶**「はい」**▶1**または**2 • 発信時に自分が聞くガイダンスの言語を選択します。 ▶**「はい」**▶1**～**3 • 着信時に相手が聞くガイダンスの言語を選択します。「日本語＋英語」にすると日本語→英語の順に、「英語＋日本語」にすると英語→日本語の順にガイダンスが流れます。
2 ガイダンス設定確認	▶**「はい」**

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P48

1 MENU▶8 8 7 6▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 ドコモ故障問合せ	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶**「はい」**
2 ドコモ総合案内・受付	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶**「はい」**

通話中着信設定

通話中着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU▶8 8 7 8▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通話中着信設定開始	▶「はい」
2 通話中着信設定停止	▶「はい」
3 通話中着信設定確認	▶「はい」

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

1 MENU▶8 8 7 9▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通常着信	キャッチホンが開始のときは、キャッチホンが動作します。停止のときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→P73
2 留守番電話	通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスに接続します。
3 転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
4 着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信の着信を拒否します。

- いずれの設定の場合でも、不在着信として記録されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 MENU▶8 8 7 2▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 遠隔操作開始	▶「はい」
2 遠隔操作停止	▶「はい」
3 遠隔操作設定確認	▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発着信中の画面に基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤルまたは着信履歴から発信する場合は、以前発着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU▶8 8 7 7▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 通常発信番号設定	▶1～3▶**「はい」**
2 通常発信番号設定確認	▶**「はい」**
3 電話番号設定	基本契約番号の名称は、プロフィール情報の設定内容が表示されます。 ▶**各項目を設定**▶ⓒ **付加番号1または2名称：** 全角10（半角20）文字以内で入力します。この名称は、電話の着信画面やリダイヤル、着信履歴などに表示されます。 **付加番号1または2電話番号：** 26桁以内で入力します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」にすると、電話をかけるときにサブメニューからマルチナンバーの発信番号を選択できます。
4 着信設定	▶1**または**2▶**各項目を設定**▶ⓒ • 付加番号ごとに着信動作を設定するときは、個別設定を「ON」にします。 「着信音」「イメージ表示」の設定操作→P100「電話着信時の動作を変更する」

◆電話番号を選択して電話をかける

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」にすると、マルチナンバーを選択できません。

1 **電話番号を入力**▶MENU▶4▶1～3▶MENU

✔お知らせ

- リダイヤル、着信履歴からの操作：MENU→「マルチナンバー」
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面からの操作：MENU→「発信オプション」
- 電話帳の電話帳一覧からの操作：MENU→「発信オプション／メール」→「発信オプション」
- 電話帳の電話番号の詳細画面からの操作：MENU→「着もじ／マルチナンバー」→「マルチナンバー」
- 発信オプションから操作する場合、「指定なし」にすると通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのとき、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行う場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにしてください。また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行う場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。

❖各モードについて

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信とiモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード：A／Bの両方の機能を備えたモードです。

- 2in1のモードごとの動作→P378

❖注意事項

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。→P202
- iモードを契約している場合は、Bモードでもiモードサービスを利用できます。
- BモードのときはMail To機能を利用できません。

✔お知らせ

- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳データ、メール送受信履歴の全件削除
  - 受信／送信／未送信メールの「1件削除」または「複数削除」以外の削除操作
  - メールフォルダや電話帳のグループの削除
  - データー括削除
- 外部機器と接続して発信・ATコマンド発信を行うことはできません。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。

❖2in1設定を設定する〈2in1設定〉

- 2in1設定を設定したり動作させたりするには、2in1をONにしてください。
- 2in1がONでセレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のとき、待受画面で6を1秒以上押すと2in1モード切替が起動します。

1 MENU▶8 8 6▶認証操作▶「はい」▶メニュー項目を選択して操作

- 既に2in1をONにしている場合は、認証操作を行うと2in1設定画面が表示されます。

メニュー項目	機能と操作
1 2in1モード切替	▶1～3 • 現在設定しているモードは選択できません。
2 電話帳2in1設定	Aモード、Bモード、A／B両モードで表示させるFOMA端末電話帳の電話帳データを設定します。 「共通」にした電話帳データは、A／B両方のモードで表示されます。 名前の表示について→P86 ▶**モードを選択**▶**電話帳検索**▶**電話帳データを選択**▶▶**「はい」** • 電話帳選択画面では、名前の右側にA(Aモードの電話帳データ)、B(Bモードの電話帳データ)、またはAB(A／B両モードの電話帳データ)が表示されています。
3 モード別待受画面設定	
1 デュアルモード待受画面	以降の操作→P108「画像／動画／iモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作3
2 Bモード待受画面	以降の操作→P108「画像／動画／iモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作3
4 発着信番号設定	
1 Bナンバー着信設定	▶**1または2** 以降の操作→P101「電話やメール・メッセージの着信音を変える」操作3 • 本設定では「きせかえツールに従う」は表示されません。
2 Bナンバー識別表示	Bナンバーを利用するとき、発着信中や通話中画面などに表示される「発信中」などの状態表示を《発信中》などとカッコでくくるかどうかを設定します。 ▶**1または2**
5 2in1機能OFF	▶**「はい」** OFFにすると、AナンバーとAアドレスのみ利用できます。電話帳、受信メール、リダイヤル、着信履歴などのデータは、すべて表示されます。

✔お知らせ

- 初めて2in1を契約したときには、既にFOMA端末電話帳に登録している電話帳データの電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。再契約された場合は、以前に設定していた電話帳2in1設定を引き継ぎます。
- モード別待受画面設定では静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。

❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※1
	着信※2	すべて		
電話帳	表示※3、4	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	名前変換※5	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	新規登録時	「A」	「B」	「A」
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う※6		
	赤外線通信／iC通信からの1件受信	「A」	「B」	「A」
	microSDメモリーカードからの復元	バックアップ時の電話帳2in1設定に従う※6		

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
	microSDメモリーカードからの1件コピー	「A」	「B」	「A」
	FOMAカード電話帳へコピー	「共通」（電話帳2in1設定は設定されない）		
	FOMAカード電話帳からコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル／着信履歴表示		Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべての発着信
メール／SMS	表示※4	Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	Bアドレス※7／Bナンバーに受信したメール／SMS	すべて
	送信	Aアドレス／Aナンバー	送信不可	Aアドレス／Aナンバー※8
	受信※9	すべて		
	WEBメールサイト	利用不可	利用可能	利用可能
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ※10		
	赤外線通信／iC通信からの1件受信	Aアドレス／Aナンバー		
	microSDメモリーカードからの復元	バックアップ時の状態を引き継ぐ※10		
	microSDメモリーカードからの1件コピー	Aアドレス／Aナンバー		
	FOMAカードへ移動／コピー（SMSのみ）	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
	FOMAカードから移動／コピー（SMSのみ）	すべてAナンバーとして移動／コピー		
iアプリ		利用可能	利用可能※11	利用可能※12
プロフィール情報表示		Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	すべて

※1 スケジュールのメンバーリストまたはセレクトメニューの人物から発信する場合も、発信時に選択できます。電話帳から発信する場合は、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。クイックダイヤル発信とイヤホンスイッチ発信も同様です。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴から発信する場合は、発着信時のナンバーに従って発信されます。
プロフィール情報に登録した電話番号に発信する場合は、Aナンバーのプロフィール情報の電話番号にはAナンバーで、Bナンバーのプロフィール情報の電話番号にはBナンバーで発信されます。
ただし、発信オプションから発信する場合は、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択できます。

※2 電話帳2in1設定によって表示される電話帳データのみ、メモリ別着信拒否／許可が動作します。
電話帳2in1設定によって表示されない電話帳データは、メモリ登録外着信拒否に従います。

※3 シークレット属性を設定している場合は、プライバシーモードの動作が優先されます。

※4 microSDメモリーカード内の電話帳、メール、SMSは2in1のモードに関わらず、すべて表示されます。

※5 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先などに、電話帳に登録している名前が表示されます。

※6 送信側やバックアップ時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。

※7 WEBメールサイト上で端末に保存操作をしたメール、新着通知メール、アラーム通知メール

※8 電話帳2in1設定で「B」にした相手にもAアドレスでメールを、AナンバーでSMSを送信しますのでご注意ください。
メール受信履歴のBアドレス／Bナンバーの履歴を利用して送信できません。
※9 AモードのときにBアドレス／Bナンバーへ受信した場合、またはBモードのときにAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
※10 送信側やバックアップ時の端末のAアドレス／Aナンバーは受信側または復元先のAアドレス／Aナンバーとして、Bアドレス／Bナンバーは受信側または復元先のBアドレス／Bナンバーとして保存されます。
※11 メール機能を利用するｉアプリ、ｉアプリ待受画面は利用できません。
※12 ｉアプリ待受画面は利用できません。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 MENU▶8 8 7 1▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 USSD登録	登録・変更する ▶**番号にカーソルを合わせて**○▶**各項目を設定**▶○ **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 • サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 **名称：** サービス名を全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録したサービスを利用する ▶**サービスを選択** 登録したサービスを削除する ▶**サービスにカーソルを合わせて**MENU▶1**または**2▶**「はい」**
2 応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 登録・変更する ▶**番号を選択**▶**各項目を設定**▶○ **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 **応答メッセージ：** 全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録した応答メッセージを削除する ▶**応答メッセージにカーソルを合わせて**MENU▶1**または**2▶**「はい」**